

社会資本総合整備計画【街路】事後評価書

平成30年8月10日

計画の名称	16 みなかみ町の中心市街地を一体化することにより、コンパクトで災害に強い、安全と安心を実感できるまちづくり（防災・安全）																										
計画の期間	平成28年度～平成31年度（4年間）				交付対象		みなかみ町																				
計画の目標	<p>みなかみ町の中心市街地である「後閑地区」と「町組地区」は利根川で分断されており、両地区を結ぶ橋梁は、歩道が狭く朝夕の渋滞の激しい県道のみである。両地区を結ぶ都市計画道路整備事業として、平成20年度から平成27年度まで都市再生整備計画事業が実施され、本事業は継続事業である。利根川左岸側の「後閑地区」には、JR後閑駅、みなかみ町役場、H28新築開院の救急病院である月夜野病院が、右岸側の「町組地区」には、指定避難所である総合体育館、月夜野中学校、利根商業高等学校、H28開園のつきよのこども園等が集結している。両地区を結ぶ都市計画道路整備のうち残されている利根川を跨ぐ橋梁上部工関連事業にて、両地区連結し、みなかみ町の中心市街地を一体化することにより、コンパクトで災害に強い、安全と安心を実感できるまちづくりを目指す。</p>																										
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 「JR後閑駅」前からの徒歩による避難施設（総合体育館）へのアクセス時間を31分から25分へ短縮する。 安全で安心な通行ができる歩道が設置された道路延長。 																										
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">「JR後閑駅」前から「総合体育館」への徒歩によるアクセス時間を計測する。（単位：分）</td> <td colspan="2">定量的指標の現況値及び目標値</td> <td rowspan="3">備考</td> </tr> <tr> <td>当初現況値</td> <td>最終目標値</td> </tr> <tr> <td>(H28当初)</td> <td>(H31末)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>31</td> <td>25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>歩道が整備された道路延長を計上する。（単位：km）</td> <td>0</td> <td>0.4</td> <td></td> </tr> </table>											「JR後閑駅」前から「総合体育館」への徒歩によるアクセス時間を計測する。（単位：分）	定量的指標の現況値及び目標値		備考	当初現況値	最終目標値	(H28当初)	(H31末)		31	25		歩道が整備された道路延長を計上する。（単位：km）	0	0.4	
「JR後閑駅」前から「総合体育館」への徒歩によるアクセス時間を計測する。（単位：分）	定量的指標の現況値及び目標値		備考																								
	当初現況値	最終目標値																									
	(H28当初)	(H31末)																									
	31	25																									
歩道が整備された道路延長を計上する。（単位：km）	0	0.4																									
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	770百万円	A	770百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0%															
交付対象事業																											
A 基幹事業																											
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	H28	H29	H30	H31	全体事業費 (百万円)	備考													
A-1	街路	一般	みなかみ町	直接	みなかみ町	(都) 真政悪戸線 後閑工区	道路新設 L=0.43km	みなかみ町					770														
合計												770															
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																											
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	H28	H29	H30	H31	全体事業費 (百万円)	備考													
合計												0															
C 効果促進事業																											
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	H28	H29	H30	H31	全体事業費 (百万円)	備考													
合計																											
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考														
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																											
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	H29	H30	H31	H32	全体事業費 (百万円)	備考													
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考														

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・幅員に余裕のある自転車・歩行者専用道路整備により通学する児童生徒の安全が確保された。 ・朝夕の通勤通学時、狭隘で危険な県道の渋滞が緩和された。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①「JR後閑駅」前からの徒歩による避難施設（総合体育館）へのアクセス時間	最終目標値	31分	目標値と実績値に差が出た要因	・目標を達成した。
		最終実績値	20分		
	指標②安全で安心な通行ができる歩道が設置された道路延長。	最終目標値	0.4Km	目標値と実績値に差が出た要因	・目標を達成した。
		最終実績値	0.4Km		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> ・利根川により分断されていた町の中心市街地が一体となったことにより開通した都市計画道路の沿線に新築住宅が急増している。 			